

抄 録

ふりがな	うじしまいぞうぶんかざいはくつちょうさほうこくしょ だい65しゅう							
書名	宇治市埋蔵文化財発掘調査報告書 第65集							
副書名	宇治市街遺跡(宇治里尻36-6他・36-27他)							
シリーズ名	宇治市埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	第65集							
編著者名	浜中邦弘・西田倫子・中井淳史・桃井宏和・浅井猛宏・檀原徹・松田順一郎・中原計・金原正明・宮路淳子・中川要之助							
編集機関	宇治市歴史資料館							
所在地	〒611-0023 京都府宇治市折居台1-1							
発行者所在地	宇治市教育委員会							
発行年月日	西暦2007年3月30日							
所収遺跡名	所在地	市町村コード	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
宇治市街遺跡 (川西地区)	宇治市宇治 里尻36-6 他	26204	108-1	34° 53' 21	135° 48' 13"	060606 ～ 060927	2,692㎡	病院及び特 別養護老人 ホーム建設
	宇治市宇治 里尻36-27 他			34° 53' 21	135° 48' 14"	060920 ～ 061202		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
宇治市街遺跡 (宇治里尻 36-6他)	集落	古墳中期～ 江戸	溝・井戸・柱穴		コンテナバット150箱			
宇治市街遺跡 (宇治里尻 36-27他)			溝・柱穴		コンテナバット30箱			
成果要約	<p>宇治市街遺跡は、現在の宇治地区とほぼ重複する集落遺跡である。面積は54万㎡を測る。過去26回程の調査を実施しており、古墳時代から江戸時代にわたる各遺構・遺物が検出されている。</p> <p>今回の調査地は、宇治市街遺跡範囲の南端に当たると同時に宇治市街(川西地区)を形成する扇状地の端部に当たる地点の発掘調査となった。</p> <p>調査の結果、調査地の中央で東西に方向の溝を検出した。この溝は、飛鳥から江戸時代まで続くことが出土遺物から明らかになった。また、かつて巨椋池と考えられていた範囲が安定した地盤を形成していたこともわかり、宇治市街遺跡の範囲が南側に広がる可能性を示唆することができたのは大きな成果であったといえる。</p>							

宇治市埋蔵文化財発掘調査報告書 第65集

宇治市街遺跡（宇治里尻36—6他・36—27他）発掘調査報告書

発行日 2007年3月30日

発行者 宇治市教育委員会

〒611-8501 京都府宇治市宇治琵琶33

編集 宇治市歴史資料館

〒611-0023 京都府宇治市折居台1-1

TEL 0774-39-9260

FAX 0774-39-9261

Email shiryoukan@city.uji.kyoto.jp